

環境アセスメント学会制度研究部会第37回定例会のお知らせ

1. 日時

令和5年1月4日(水) 19:00~20:30
※終了後、引き続き有志で懇親会を行います(飲食各自)。

2. 場所

zoom会議室(定員100名)
事前登録(定例会当日の午前中までに招待メールを送信する予定。)

3. テーマ

持続可能性アセスメントについて

4. 話題提供者

持続可能性アセスメント研究会(代表:柴田裕希 東邦大学准教授、学会理事)
コメンテーター:柳憲一郎 明治大学名誉教授 学会顧問
錦澤滋雄 東京工業大学准教授 学会理事
倉坂秀史 千葉大学教授 学会理事

5. 定例会の趣旨

EUや米国をはじめ、OECD加盟諸国の多くでは、様々な形で持続可能性アセスメントが実施されています。その実施は戦略段階から事業化段階、管理運営や撤去などの段階に及び、包括的な評価が試みられています。しかし、日本の環境影響評価制度は、境面のみを対象として、事業化段階におけるアセスメントとなっており、持続可能性アセスメントに類する実践例はないに等しい状況です。研究面でも、諸外国の制度や事例を紹介するものはありませんが、日本国内での導入に向けた実践的なものはありません。このため、日本の社会に定着しうる持続可能性アセスメントの理念と枠組み、実践イメージを提起することを目的に、学会有志に寄り持続可能性アセスメント研究会を立ち上げました。本定例会では、持続可能性アセスメント研究会の中間的な成果報告をしていただくとともに、参加者の間で意見交換をします。

6. 申し込み

令和4年12月23日(金)までに、制度研究部会担当:上杉(tetsuro_uesugi@nifty.com)までメールにてお申し込み下さい。お申し込みの際は、件名に「アセス学会制度研究部会第37回定例会参加申込み」とご記入の上、お名前その他、会員番号、所属、連絡先をお知らせ下さい。なお、お申し込みは会員(賛助会員、公益会員の職員を含む)に限らせていただきます。お申し込みについて返信は特になしとさせていただきますのでご了承下さい。定例会当日の午前中までに、招待メールを送信する予定です。

制度研究部会担当:上杉哲郎
tetsuro_uesugi@nifty.com